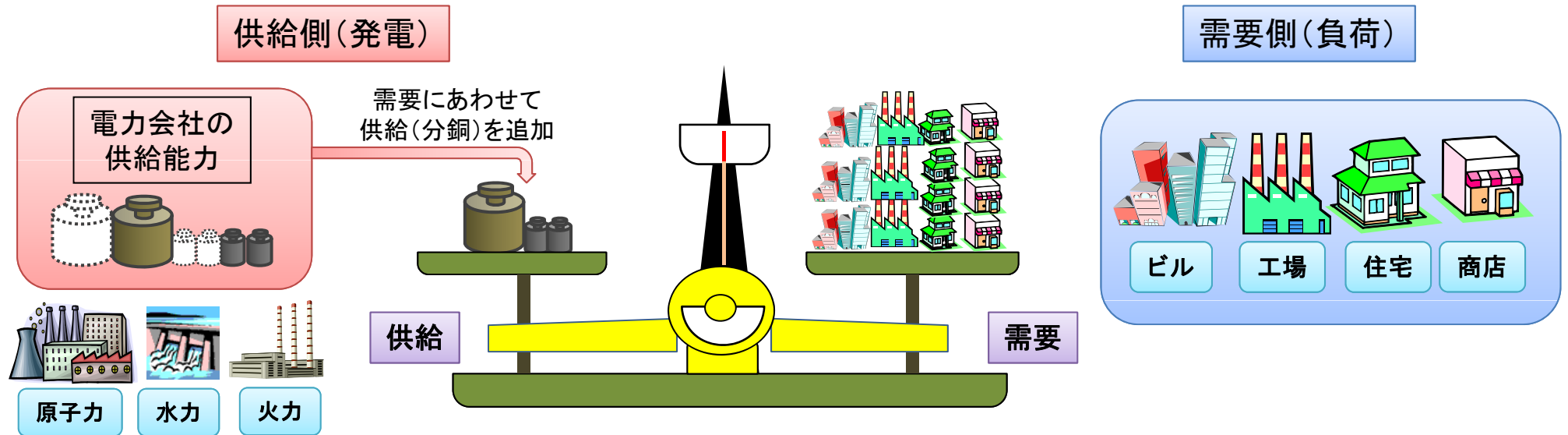
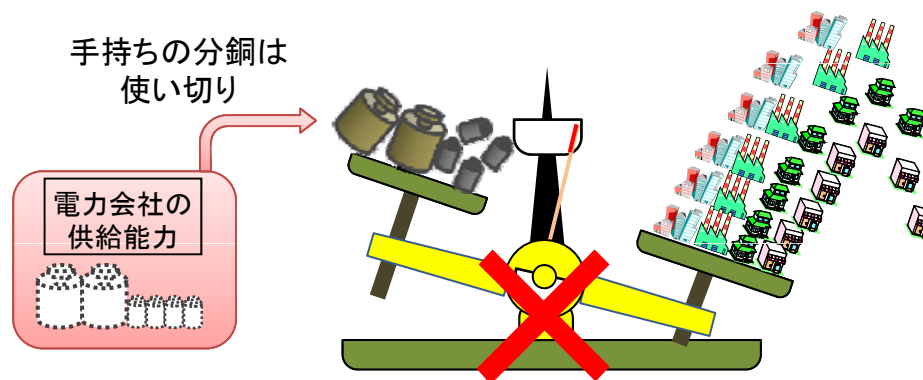


電力の需要と供給について

- 電気は「貯められない」
- 電力会社は需要（消費）に対して供給（発電）を瞬時瞬時にあわせている。（需要に応じて分銅をのせる）
- 電力会社の供給能力（手持ちの分銅の総数）を超えて供給することはできない。

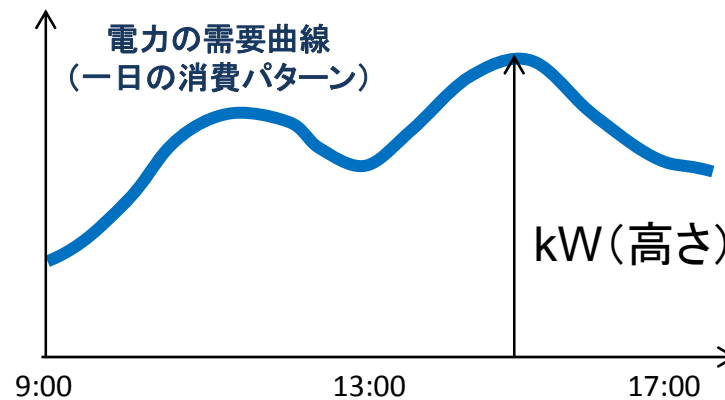
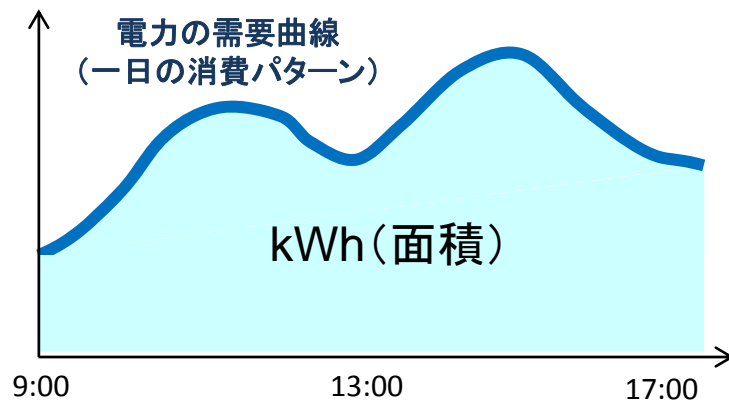


□「需要 > 供給能力」となった場合は予測不能な大規模停電を招く可能性あり

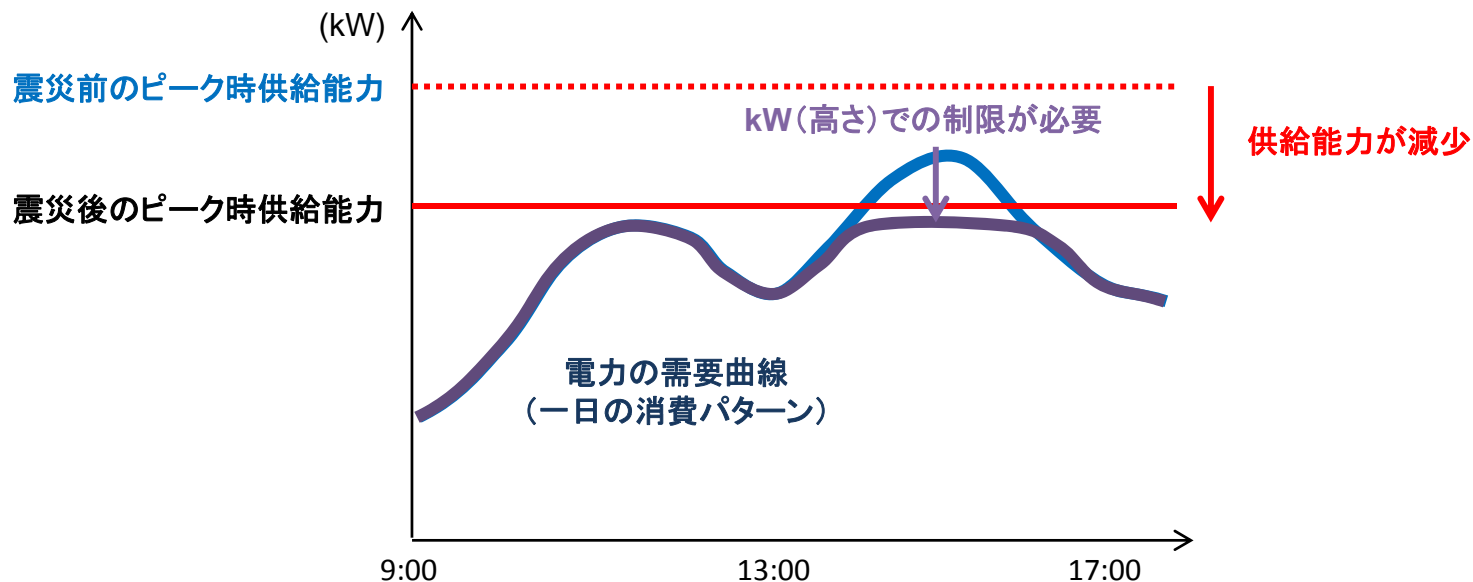


kWh(面積)とkW(高さ)について

- 電気の世界で、kWhは電気の発電や消費の総量(面積)を示す単位として使われている。
- 一方、kWは瞬時瞬時の電気の発電や消費(高さ)を示す単位として使われている。



- 今回の震災では、発電所が被害を受けたため、電力会社のピーク時供給能力(kW)が減少。
- そのため、ピーク時におけるkW(高さ)での制限が必要。



電気が届く仕組みと計画停電の範囲について

- 電気は発電所から太い送電線で送られ、変電所毎に細い送電線に枝分かれして消費者に送られる。
- 今回の計画停電は一次変電所ごとに行われている。
- そのため、同じ電線網に連なる全ての施設を対象に停電や復旧の操作をすることになる。
- 一次変電所の管轄地域と市町村は必ずしも同じではない。
- そのため、同じ市町村でも停電する地区と停電しない地区が存在する。

